



「不燃化特区」に指定されている京島一帯（東京・墨田区）を望む

大地震時の市街地大火を防ぐ狙いから、東京・墨田区の京島一帯は建物の不燃化を緊急に進める必要がある「不燃化特区」に指定されている。「特区」の名前のとおり、特区内の不燃化には特別な支援が受けられる。

支援策の柱は、建物の不燃化への助成だ。一定の基準以上の不燃建物を建てると、建

て主に助成金が交付される。さらに、周辺の道路が災害時に避難路として十分利用できるよう、新しくつくる建物を後退させて道幅を広げるなどした場合は、助成金が加算される。また、「アクアサポート」と呼ばれる支援策では、初期消火に役立つ消防水利（消火用の水）の確保や、避難者が火災の熱で逃げられなくなることがないようにするための対策（輻射熱対策）などを、地元住民の方々と協議しながら進める。

そうした防災まちづくりのため、地元の人たちの相談に乗る専門家が「まちづくりコンシェルジュ」だ。個別の事情や条件などに応じた建て替え手法、生活再建策などを提案し、アドバイスする。UR都市機構は、墨田区とともにその役割を担う。相談窓口は、区役所の都市整備課と、一般財団法人墨田まちづくり公社まちづくりセンター内の「まちづくりの駅」にある。